

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第193号（8.3.16） 王子陸上競技場等建物解体工事及び大学建設工事に係る防災拠点に関する陳情
陳 情 の 要 旨	1. 陸上競技場、補助競技場等の代わりにふさわしい、土地利便性の良い 防災・減災拠点を灘区または市東部に新たに確保すること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市灘区 堀 口 清 志
送 付 委 員 会	建設防災委員会

神戸市議会議長 様

2026年3月16日

陳情者

住所 神戸市灘区

名前 堀口 清志

王子陸上競技場等建物解体工事及び大学建設工事に係る防災拠点に関する陳情 【陳情趣旨】

昨年11月17日から王子陸上競技場等の解体工事が始まりました。解体工事後には、やがて大学建設工事、そして補助競技場での立体駐車場建設工事などが始まることになるでしょう。敷地立ち入り禁止の中で何年にもわたる再整備工事期間中に大規模災害が起きれば、王子公園は広域防災拠点として機能することができません。

昨年9月議会の本会議で小松副市長は「防災機能については、公園全体の工事を踏まえて代替場所を確保しているので、十分避難拠点とか防災拠点の充実というか確保はできている。各小学校とか、神戸市の市有地を代替機能として指定している」と答弁しています。

さらに原田王子公園再整備本部長も再整備後の避難場所について委員会で「再整備後は工事エリアだったところが開放されるわけでございますので、周辺の新たに指定したところはそのまま指定した状態になりますので、相まって組み合わせた形で、全体の地域の避難場所が充実するというふうに考えております」と説明しています。

灘区ではすでに避難場所として機能している福住小学校、稗田小学校、上野中学校、神戸高校を改めて屋外避難場所にも指定し、新たに摩耶山の中腹に位置する灘丸山公園を追加し代替地を確保したとしています。しかし、神戸市東部で救援ヘリポートや救援物資の集積など陸の防災拠点となる平場のオープンスペースが必要ですが、近隣の灘区の学校や中央区の小規模な公園を集め、形だけ数合わせをしても、陸上競技場や補助競技場等の代替場所とはなりません。

住民一人当たりの都市公園面積を算出した最新の資料によると、住区基幹公園（いわゆる「身近な公園」）について次のように掲載されています。神戸市全体で4.43㎡に対し、灘区はその半分以下の2.19㎡にすぎないこと。灘区は全市の見ても一人当たり都市公園面積が最小であること。そして資料にはわざわざ東灘区とともに「密集した土地利用⇒公園面積が少ない」とまで記されているのです。（「神戸市みどりの基本計画」概要資料より）

このようなことから、災害時の一次避難場所、安全・生活支援拠点、復旧・救援活動拠点となる住区基幹公園（「身近な公園」）の少ない灘区または神戸市東部に、総合公園である王子公園の代わりとしてふさわしい防災・減災拠点が必要です。よって以下の通り、陳情します。

【陳情事項】

南海トラフ巨大地震が近い将来起きることが予測されます。市が指定した避難場所だけでは数年にわたる再整備中で住民の命を救うことができません。陸上競技場、補助競技場等の代わりにふさわしい土地利便性の良い防災・減災拠点を灘区または市東部に新たに確保してください。